ISSN 0388-5569
VOL.3 NO.3
(通巻9号)
1982.10

Library News

山口大学附属図書館報

目次

「書籍大国」と図書館　古賀秀男……1
≪資料紹介≫
昭和56年度図書資料（大型）案内……2
≪事務の窓≫
雑誌の管理……3
お知らせ……4
人事異動……4
日　誌……4

「書籍大国」と図書館

古賀秀男

滞英中の夏の1日，傑出した社会史家として知られるエドワード・P・トムスン氏夫妻（同氏は近年ヨーロッパ反核運動の理論家としても著名であり，ドロシー夫人は筆者と共通するテーマの令名高い専門家である）を，イングランド中西部のウスター郊外のお宅に訪ねたときのことである。今では完全に消失したものと見られてきた19世紀前半の1週刊機関紙の創刊時の数号が，近年売りに出て，トウキョウ大学が購入したという話をエドワード氏からきいた（問題の数号が欠けた大英図書館蔵の同紙のマイクロ・フィルムは，本学図書館蔵で筆者の研究室にある）。その情報は不確かのようであったが，近年ではヨーロッパで稀覯書が売りに出ると，アメリカか日本が購入するので，この2国を探せといわれていると笑われた。

これはまさにわが「高度成長」の所産といえようが，その顕著な1事例は，1978年に大型図書として九州大学が購入したペラ文庫3,000余冊がある。この場合は，フランス中世史家故ペラ教授の貴重な蔵書が売りに出ると，アムステルダムの古書籍商が即座に実物をまったく確かめずに購入し，その足で空路日本に売り込みに来たのである。より大型の例は，専修大学が1977，1979年に購入したフランス革命関係の貴重資料4万数千点を擁するミシェル・ベルンシュタイン文庫である。同文庫はその量と質において，パリの国立図書館所蔵のフランス革命資料のコレクションに次ぐものであり，蒐集家ベルンシュタイン氏は，それを分割せずに一括して保管・利用されることを条件に売りに出した。売価4億円，専修大学は創立100年記念事業として，この条件のもとに購入したのである。同図書館は，その文庫全点をマイクロ・フィルム化し，すべてのページや文書に番号を付し，閲読・複写のサービスに直ちに応じられる態勢を整えつつある。フランス革命200周年も間近かに控えて，国際水準のフランス革命研究がパリに出かけなくても可能になったといえるだろう（『専修大学ミシェル・ベルンシュタイン文庫だより』創刊号〔1980年〕を参照）。また欧米における古典書のリプリント計画も，日本市場の需要が少なからぬ比重を占めており，日本での予約の伸びいかんでは，計画取止めになるとさえ噂されている。

こうした状況は，近年では確かに「高度成長」に負うているが，基本的には明治維新以来，日本が欧米諸国を到達目標にして近代化をすすめてきたこととかかわっており，日本が非ヨーロッパ世界の中で最も欧米研究に熱心な国であるからにほかならない。また新刊書の出版点数をみても，1976年の最多出版国はソ連で79,000点，2位アメリカ76,860点，3位日本35,617点，4位西独35,590点，5位イギリス26,132点であり（『国連世界統計年鑑1978年』），日本はまさに有数の「書籍大国」といえるだろう。

しかし，このような出版文化の隆盛の中で，青年層の活字離れは滲透し，一部のベスト・セラーの華やかな蔭に出版業界は構造不況といわれ，とくに学術・専門書の不振が目立っている。この傾向は，学生の「図書館離れ」という形で大学図書館にも少なからぬ影響を与えているようだ。大学図書館にも，一般の公共図書館なみに，「話題の書コーナー」などを設ける必要があるのだろうか。

教育・啓発のための「大衆化」の必要さえ説かれるとしても，大学図書館の真髄は，やはり現代の知的水準を維持し高めるための情報，文献，資（史）料を蒐集し，利用に供することである。日本の大学図書館は，その蔵書の分散性と相まって，部外者には閉鎖的という傾向があるようだ。筆者も，欧米の諸大学の稀覯書や手稿の閲覧室で，管理の厳重さに辟易させられた経験を再々持っている。どこも取扱いと複写の条件が厳しく，手稿文書室では鉛筆しか使用できない。ボールペンなど使おうものなら，直ちに注意される。しかし正規の閲覧手続きをして，こうした条件をまもれば，それらは利用者に公開されているのである。オクスフォード大学の中央図書館であるボードリアン図書館の鎖つきの貴重書の話はあまりにも著名だが，管見の範囲でも，稀覯社会経済書を所蔵するロンドン大学ゴールドスミス図書室，社会科学文献のコレクションを持つオクスフォード大学ナッフィールド・カレッジの図書室，あるいは米コロンビア大学バトラー図書館の文書室などは上記の例に当り，いずれも落着いた雰囲気である。また稀覯社会経済書を所蔵するハーヴァード大学ビジネス・スクールのクレス図書室は，ドアの内側に，歩くとブザーが鳴る仕掛けがあり，アメリカらしい着想と感嘆させられた。

情報化時代の「書籍大国」にあって，知的水準と文化を維持し発展させるために，図書館の役割と仕事はますます重要性を増していくにちがいない。そして蒐書者も利用者も，それだけ一層とぎすまされた選書眼を要求されることになるであろう。

（教養部教授）

昭和56年度図書資料（大型資料）案内

大学名	資料名
北海道大学	Sammlungen der Grundlegenden Rechtwissenschaft und der Allgemeinen Geschichte （基礎法学並びに一般史関係コレクション）
茨城大学	British Government Publication containing statistics. 1801－1967.（マイクロフィルム版　英国統計資料集成）
筑波大学	Bauhaus Buecher and Catalogues of Bauhau Exhibitions, etc.（バウハウス双書と展覧会目録コレクション）
山梨大学	16ミリカラー映画フィルム（私はこうして治している他）
愛知教育大学	Health, Physical Education and Recreation. Oct. 1949－Apr. 1981.（保健・体育・レクリエーション研究文献集成－マイクロフィッシュ版）
信州大学	アメリカ合衆国経済関係官庁及び行政委員会資料
岐阜大学	歌学資料集成（マイクロフィルム）
神戸大学	United Nations Official Records.（国連公式記録集） U. S. Bureau of Education: Report of the Commissioner of Education. 1870－1917. 89 vols.（米国教育教政局報告書）
鳥取大学	Columbia University. Teachers College. Contributions to Education. No. 1－94.（コロンビア大学教育学部　教育学寄稿論文集）
佐賀大学	東京大学史料編纂所架蔵　東寺百合文書１－42（マイクロフィルム）
大分大学	Collection of thc History of Christian Church in the Middle Ages.（中世教会史叢書）

≪業務の窓≫

雑　誌　の　管　理

山口大学では，下表のとおり延1万タイトル余の雑誌を受入・整理し，利用に供しております。以下，各業務の概略を紹介し，併せて図書館からのお願いを述べます。

	購入		寄贈		計
	和	洋	和	洋	
本館	1, 176	1, 573	4, 587	521	7, 857
医学部分館	245	630	436	58	1, 367
工学部分館	186	384	517	101	1, 188
計	1, 604	2, 587	5, 540	680	10, 414

1. 選択および購入手続

雑誌は，継続して受入れるのが普通です。毎年9月に，次年度の購入希望誌の調査をいたしますので，予算を勘案の上御回答願います。年度途中の購入中止や新規購入は，原則として出来かねます。関係研究室との連絡を密にして，重複タイトルをできるだけ減らすようお願いします。図書館備付雑誌の選定は，図書委員会で行っています。雑誌の受入・整理事務は，本館では雑誌係，分館では整理係が担当していますので，細部については担当係と相談してくださいますようお願いします。

2. 雑誌の寄贈交換

各大学・研究所・試験場等の紀要類は，相互に寄贈交換する形で受入・整理しています。交換事務は図書館で行いますが，送付先の指定，費用分担は，学部等へお願いしています。学部・研究室（講座）宛の寄贈雑誌も図書館で整理・提供していきたいので，回送方お願いします。学内で出版された雑誌は是非とも御寄贈願います。また私的に蒐集された雑誌についても，図書館未蔵のものについては，御寄贈いただければ幸いです。

3. 雑誌製本

製本業者と単価契約を結んだ後，作業日程を計画します。各研究室に貸出中雑誌の製本について本年は，6月＝教育学部，8月＝農学部，10月＝教養部，12月＝人文学部・理学部を対象として，製本希望雑誌を回収し，処理することにしています。製本業者に約1ケ月間，準備及び整理にそれぞれ1ケ月程度必要でありますので，その間の利用はできないことになります。雑誌は，製本を前提として受入・整理しており，また散佚・破損を防ぐ意味でも，出来るだけ早い機会に製本するよう，御協力をお願します。

4. 目　録

「全学継続受入雑誌目録」は，経費の関係で1974年版以降刊行出来ずにいます。医学部分館，工学部分館は，1978年にそれぞれ自館の雑誌所蔵目録を出版しています。up－to－date な情報は，事務用のカード目録に依拠しているのが現状です。現在，業務の電算化を進めており，より利用し易い情報を提供できるよう検討しています。今暫らくは，担当係や参考係へ，直接情報の提供を求めて下さい。

5. 閲覧及び貸出

本館では，新着雑誌を除いて，未製本・製本の区別なく，3日間の期限で貸出しています。新着雑誌については，一夜貸出しが認められています。電算機処理を始めましたが，ＩＤラベル未貼付の雑誌については，一定の手続きをお願いすることになります。また，研究室予算で購入された雑誌は，希望により当該研究室に長期貸出をしていますので，事務室で貸出手続きをして下さい。研究室貸出中の雑誌を利用されたいときは，直接当該研究室と相談して下さい。

分館では，貸出制限等が本館とは異なった点がありますので注意して下さい。研究室等への長期貸

出は，原則としていたしておりません。

雑誌の配架は，建物の条件にしばられ，各館で異なりますが，直接書架検索できますので，案内板や掲示に注意して閲覧して下さい。

6. コンテンツサービス

新着雑誌の目次のコピーが必要な方は，担当係と相談して下さい。費用等は，利用者の負担になります。

おわりに

以上6項目について述べましたが，不審な点や御要望，御意見をお寄せ願います。図書委員会に諮り，よりよい雑誌管理ができるよう努力したいと考えております。　（雑誌係　Tel（内線）784）

≪お知らせ≫

本館の増築計画について

統合以来10余年，図書館資料の増加に応え又利用者増に伴う利用スペースの拡張など，できる限りの対応策を講じて耐えてきたが，既にその限界に達して，昭和54年度から増築要求が出されていた。このたび，国立学校等施設整備計画の実施計画によると，3,110㎡の増築が明らかにされている。この増築計画が順調に実施されると，遅くとも昭和58年度中には完成するものと期待されている。具体的な設計，計画図は細部について目下検討中であるが，書庫の収容能力は現在の45万冊が2倍の90万冊に，閲覧座席数526席が約40％増の700余席となることが予定されている。

人事異動（57.9～10）

山田拡海（閲覧課）　工学部厚生係長へ
山田周治　閲覧課閲覧係に採用

日誌

7月6日（火）～7日（水）　昭和57年度中国地区著作権講習会（於山口・山泉荘）
7月12日（月）　第8回本館図書委員会
7月13日（火）　工学部分館図書委員会
7月27日（火）　工学部分館図書委員会
8月5日（木）　電算化のための日本電気㈱との定例会
9月9日（木）　電算化のための日本電気㈱との定例会
9月11日（土）　本館増築予定地の埋蔵文化財公開説明会
9月14日（火）　昭和58年度全国図書館大会打合せ会（於県立図書館）
9月16日（木）　工学部分館図書委員会
9月24日（金）　山口大学情報処理センター，本館，日電三者合同打合せ会（於情報処理センター）

編集・発行　山口大学附属図書館　〒753　山口市大字吉田1677－1　電話（0839）22－6111（内線778）